



もしも「死にたい」と言われたら ～心理学的剖検の経験から～

松本 俊彦

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／病院 薬物依存症センター センター長

-
- 略 歴** 1993年佐賀医科大学 卒業。
横浜市立大学医学部附属病院での初期臨床研修修了後、国立横浜病院精神科シニアレジデント、神奈川県立精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手、医局長を経て、2004年に国立精神・神経センター（現 国立精神・神経医療研究センター）精神保健研究所 司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。
以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同副センター長などを歴任し、2015年より同研究所 薬物依存研究部 部長に就任。さらに2017年より国立精神・神経医療研究センター病院 薬物依存症センター センター長を併任。
- 資 格** 精神神経学会精神科専門医・指導医
精神保健指定医
精神保健判定医
- 学会等役員兼務** 日本社会精神医学会理事
日本アルコール・アディクション医学会理事
日本精神科救急学会理事
日本学術会議アディクション分科会特任連携委員
- 受賞など** 2006年 星和書店「精神科治療学」優秀論文賞
2011年 日本犯罪学会学術奨励賞
2017年 日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞
2021年 Neuropsychopharmacology Reports Topic Award 2021
2022年 第70回日本エッセイスト・クラブ賞
- 主 著** 「薬物依存の理解と援助」（金剛出版，2005）
「自傷行為の理解と援助」（日本評論社，2009）
「アディクションとしての自傷」（星和書店，2011）
「薬物依存とアディクション精神医学」（金剛出版，2012）
「自傷・自殺する子どもたち」（合同出版，2014）
「アルコールとうつ、自殺～『死のトライアングル』を防ぐために」（岩波書店，2014）
「自分を傷つけずにはられない」（講談社，2015）
「もしも「死にたい」と言われたら——自殺リスクの評価と対応」（中外医学社，2015）
「薬物依存症」（筑摩書房，2018）
「誰がために医師はいる—クスリとヒトの現代論（みすず書房，2021）
「世界一やさしい依存症入門」（河出書房新社，2021）